



The Plant is asking for it

セクション1: 化学品及び会社情報

1.1 GHS 製品識別子: 3YOTS

その他の身分証明書:

該当なし

1.2 推奨用途および使用上の制限:

関連用途 (産業用ユーザー): レーザーおよびプラズマ切断のサポートテーブル用の植物性液体防着剤をベースにした配合産業用ユーザー専用。

推奨されない用途: このセクションまたはセクション7.3に規定されていないすべての用途

1.3 供給者情報:

EPCM.expert SRL
Piazza Municipio, 14
38057 Pergine Valsugana (TN) Italy
Tel. +39 (0)0461 1724951
e-mail: info@EPCM.expert

1.4 緊急連絡電話番号: +39 (0)461 172 49 51

セクション2: 危険有害性の要約

2.1 物質または混合物の分類:

GHS:

0

2.2 GHSラベルの要素 (予防的記述を含む):

GHS:

なし

2.3 その他、分類の対象ならない危険:

該当なし

セクション3: 組成及び成分情報

3.1 化学物質:

該当なし

3.2 混合物:

化学的説明: 油/s

成分:

JIS Z 7252:2019の基準によると、製品は以下のような特性を示している。

識別	化学名/分類	濃度
CAS: 68956-68-3	植物油	90 - <100 %

物質の危険性に関する詳細は、セクション11、12、16を参照。

セクション4: 応急措置

4.1 必要な応急処置の説明:

従って、疑わしい場合は、この製品のSDSを参照し、化学製品に直接暴露された場合、または持続的な不快感がある場合は、医師の診察を受けてください。

吸入した場合:

この製品には吸入危険物質は含まれていませんが、中毒症状が出た場合は、暴露場所から移動させ、新鮮な空気を吸入させてください。症状が悪化したり、持続したりする場合は医師の診察を受けてください。

皮膚に付着した場合:

- 次ページに続く -

セクション4: 応急措置 (続き)

接触した場合は、水と中性石鹸で患部を十分に洗浄することを推奨します。皮膚に変化 (刺痛、発赤、発疹、水疱など) が生じた場合は、この安全データシートを持って医師の診断を受けてください。

眼に入った場合:

この製品に、目に入ると危険な物質は含まれていません。目をこすったり閉じたりしないように注意しながら、ぬるま湯で少なくとも15分間、目を十分にすすぎます。

飲み込んだ場合:

摂取した場合は、直ちにこの製品のSDSを提示し、医師の手当てを受けてください。

4.2 最も重要な症状/影響、急性および遅発性:

急性および遅発性影響はセクション2および11に示されています。

4.3 必要であれば、直ちに医師の診察を受け、特別な治療が必要であることを示します。:

該当なし

セクション5: 火災時の措置

5.1 適切な消火剤:

適切な消火剤:

泡消火器 (AB) , 粉末ドライケミカル (ABC) 消火器, 二酸化炭素消火器 (BC)

不適当な消火剤:

ウォータージェット

5.2 火災時の特有の危険有害性:

燃焼や熱分解の結果、反応性の副生成物が生じ、それが強い毒性を持つようになり、その結果、深刻な健康リスクを引き起こす可能性があります。

5.3 消防士に対する特別な保護措置:

火災の規模によっては、完全な防護服と自給式呼吸装置を使用する必要があります。最低限の緊急設備と備品が必要です (防火毛布、携帯救急箱など) 。

追加規定:

社内の緊急事態計画および事故やその他の緊急事態の後に取るべき行動に関する情報シートに従って行動します。着火源となるものはすべて破壊します。火災が発生した場合、高温による炎症、爆発、破裂のおそれがある製品の貯蔵容器やタンクは冷蔵します。消火に使用した製品が水性媒体に流出しないようにします。

セクション6: 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置:

非緊急要員の場合:

この作業を行う人に新たなリスクがないことを前提に、漏れを隔離します。漏出した製品に接触する可能性がある場合は、個人保護具を使用しなければなりません (セクション8を参照) 。そのエリアから避難し、保護されていない人々を締め出します。

緊急対応者向け:

保護具を着用します。無防備な人を近づけないでください。セクション8を参照。

6.2 環境に対する注意事項:

この製品は環境有害物質として分類されていません。製品を排水溝、地表水、地下水に近づけないでください。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材:

推奨:

排水管、下水道、または水路へのこの製品の侵入を防止します。

漏出物を砂または不活性吸収材を使用して吸収し、安全な場所に移動させてください。

おがくずやその他の可燃性吸着材に吸着させないでください。適切な容器に製品を回収し、現行法に従って管理します。

水または海への漏出: 少量の漏出:

バリアまたは類似機器を使用して、漏出物を封じ込めます。回収には適切な吸収剤を使用し、現行の規制に従って廃棄物を処理します。 大量の漏出:

可能であれば、バリアまたは類似機器を使用して、開放水域に漏出した水を封じ込めてください。それが不可能な場合は、適切

6.4 他セクションへの言及:

- 次ページに続く -

セクション6: 漏出時の措置 (続き)

セクション8と13を参照。

セクション7: 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い:

A.- 技術的対策

手作業による重量の取り扱いに関する産業上の危険防止に関する現行の法令を遵守してください。秩序を保ち、清潔に保ち、安全な方法で廃棄します (セクション6)。

B.- 火災や爆発防止のための技術的勧告

製品は、通常の保管、取り扱い、使用方法の下では不燃性です。可燃性製品に影響を与える静電気の発生を避けるため、低速での移送を推奨します。避けるべき条件や材料についての情報はセクション10を参照。

C.- 一般労働衛生に関する技術勧告

作業中は飲食せず、作業後は適切な洗浄剤で手を洗ってください。

D.- 環境リスクを防止するための技術的提言

製品の近くに吸収材を用意しておくことを推奨します (セクション6.3参照)。

7.2 保管:

A.- 特定の保管条件

涼しく乾燥した風通しの良い場所に保管します

B.- 安全な保管条件

熱源、放射線、静電気、食品との接触を避けます。追加情報はセクション10.5を参照

その他の情報:

0°C〜50°Cの間で保管してください。タンクや容器は、収容盆地/池が設けられた場所に設置または保管する必要があります。

7.3 特定の最終用途:

すでに明記されている指示を除き、この製品の使用に関して特別な推奨を行う必要ありません。

セクション8: ばく露防止及び保護措置

8.1 許容濃度:

職場において職業暴露限度を監視しなければならない物質 (国別OEL以外) :

製品に含まれる物質について、適用される職業暴露限界値はありません。

8.2 適切な技術的管理:

A.- 個人用保護具 (PPE) などの個別保護対策

予防措置として、基本的な個人用保護具の使用を推奨します。個人用保護具の詳細

(保管、使用、清掃、メンテナンス、保護等級など)


については、製造元が提供する情報リーフレットを参照。追加情報はセクション7.1を参照。

ここに記載されている情報はすべて、労働リスク防止サービスからの推奨事項であり、会社が自由に利用できる追加措置を

B.- 呼吸用保護具

作業条件および/または採用した安全対策により、製品の空气中濃度を暴露限界値 (存在する場合) 以下、または許容レベル (暴露限界値が存在しない場合) に保つことができない場合は、有資格の専門家が選択した適切な呼吸保護具を使用します。

C.- 手の保護具

絵表示	PPE	備考
 手の保護の義務化	低危険度用保護手袋	保護手袋が傷む兆候が見られる前に取り換えること。業務用、工業用に本製品に長時間はく露する場合は、保護手袋を着用することが推奨される。

製品は複数の物質の混合物であるため、手袋の素材の耐性を事前に完全に確実に計算することはできず、使用前に確認する必要があります。

D.- 眼の保護具

- 次ページに続く -

セクション8: ばく露防止及び保護措置 (続き)

絵表示	PPE	備考
 顔面保護具の着用義務	飛び散り防止用保護眼鏡	製造元の指示に従い毎日掃除し、定期的に消毒すること。 飛散の危険がある場合、使用が推奨される。

E.- 皮膚及び身体の保護具

絵表示	PPE	備考
	作業服	傷む兆候が見られる前に取り換えること。業務利用、工業用途で本製品に長時間ばく露する場合は、EN ISO6529:2013、EN ISO6530:2005, EN ISO13688 2013、EN 464:1994 規格に従ったCEIIIが推奨される。
	滑り止めつき作業靴	傷む兆候が見られる前に取り換えること。業務用、工業用に本製品に長時間ばく露する場合は、EN ISO20345:2022、EN 13832-1:2019基準に従ったCEIIIが推奨される。

この製品に特に暴露される職場や、リスクアセスメントでその必要性が強調された状況では、追加の緊急設備を導入することをお勧めします。

環境暴露管理:

環境保護規則を遵守するため、製品および容器の流出を防ぐことを推奨します。より詳細な情報については、サブセクション7.1.Dを参照。

セクション9: 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的および化学的特性に関する情報:

詳細については、製品データシートを参照。

外観:

物理的状態 20 °C:	液体
外観:	油性
色:	アンバー, オレンジ
臭い:	ソフト
臭気閾値:	該当なし *

揮発性:

沸点:	>300 °C
20 °Cでの蒸気圧:	該当なし *
50 °Cでの蒸気圧:	<300000 Pa (300 kPa)
20 °Cでの蒸発速度:	該当なし *

製品説明:

20 °Cでの密度:	0.9 kg/m ³
20 °Cでの相対密度:	930
20 °Cでの動的粘度:	該当なし *
20 °Cでの動粘度:	該当なし *
40 °Cでの動粘度:	該当なし *
集中:	該当なし *
pH:	ca. 7.5
蒸気密度20 °C:	該当なし *
分配係数nオクタノール/水 20 °C:	該当なし *
20 °Cでの水への溶解度:	該当なし *

*該当なし製品の性質上、特性危険有害性情報は提供されません。

- 次ページに続く -

セクション9: 物理的及び化学的性質 (続き)

溶解度:	水に不溶
分解温度:	該当なし *
融点・凝固点:	<-2 °C
燃焼性:	
引火点:	不燃性 (>93 °C)
燃焼性 (固体 , 気体):	該当なし *
自動着火温度:	該当なし *
燃焼性下限:	該当なし *
燃焼性上限:	該当なし *
粒子特性:	
等価平均直径:	該当なし *

9.2 その他の情報:

物理的ハザードクラスに関する情報:

爆発性:	該当なし *
酸化特性:	該当なし *
金属に対する腐食性:	該当なし *
燃焼熱:	該当なし *
エアゾール可燃性成分の合計割合 (質量比:	該当なし *

その他の安全特性:

20 °Cでの表面張力:	該当なし *
屈折率:	該当なし *

*該当なし製品の性質上、特性危険有害性情報は提供されません。

セクション10: 安定性及び反応性

10.1 反応性:

製品は推奨保管条件下で安定であるため、危険な反応は予想されません。安全データシートのセクション7を参照。

10.2 化学的安定性:

指定された保管、取り扱い、使用条件下では化学的に安定しています。

10.3 危険有害反応可能性:

指定された条件下では、過度の温度や圧力につながる危険な反応は予想されません。

10.4 避けるべき条件:

常温での取り扱いと保管が可能：

衝撃と摩擦	空気との接触	温度上昇	太陽光	湿度
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

10.5 混触危険物質:

酸	水	酸化性物質	可燃物	その他
強酸を避けます	該当なし	該当なし	該当なし	アルカリや強塩基は避けます

10.6 危険有害な分解生成物:

具体的な分解生成物については、10.3、10.4、10.5サブセクションを参照。

分解条件によっては、二酸化炭素 (CO₂)、一酸化炭素、その他の有機化合物など、複雑な化学物質の混合物が放出されます。

セクション11: 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報:

製品自体の毒性学的特性に関する実験情報は入手できません。

セクション11: 有害性情報 (続き)

危険な健康への影響:

暴露が反復的、長期的、または職業暴露限界で推奨される濃度より高い場合、暴露の手段によっては健康に悪影響を及ぼす可能性があります。

A- 摂取 (急性作用):

- 急性毒性:

入手可能なデータに基づくと、消費に危険な物質が含まれていないため、分類基準を満たしていません。追加情報はセクション3を参照

- 皮膚腐食性及び皮膚刺激性: 入手可能なデータに基づくと、この影響に対して有害と分類される物質は含まれていないため

B- 吸入 (急性作用):

- 急性毒性:

入手可能なデータに基づくと、吸入危険物質が含まれていないため、分類基準を満たしていません。追加情報はセクション3を参照。

- 皮膚腐食性及び皮膚刺激性: 入手可能なデータに基づくと、この影響に対して有害と分類される物質は含まれていないため

C- 皮膚および目への接触 (急性作用):

- 皮膚への接触:

入手可能なデータに基づくと、皮膚接触に対して有害と分類される物質を含まないため、分類基準を満たしていません。追加情報はセクション3を参照。

- 目への接触: 入手可能なデータに基づくと、この影響に対して有害と分類される物質は含まれていないため、分類基準は満

D- 生殖細胞変異原性, 発がん性, 生殖毒性:

- 発がん性:

入手可能なデータに基づくと、言及された影響に対して有害と分類される物質を含まないため、分類基準を満たしません。追加情報はセクション3を参照。

IARC: 該当なし

- 生殖細胞変異原性:

入手可能なデータに基づくと、この影響に対して有害と分類される物質は含まれていないため、分類基準は満たしていません。追加情報はセクション3を参照。

E- 呼吸器感作性又は皮膚感作性:

- 呼吸器感作性:

入手可能なデータに基づくと、感作性を有する有害物質として分類される物質を含まないため、分類基準に合致しません。追加情報はセクション3を参照。

- 皮膚感作性: 入手可能なデータに基づくと、この影響に対して有害と分類される物質は含まれていないため、分類基準は満

F- 特定標的臓器毒性, 単回ばく露:

入手可能なデータに基づくと、この影響に対して有害と分類される物質は含まれていないため、分類基準は満たしていません。追加情報はセクション3を参照。

G- 特定標的臓器毒性, 反復ばく露:

- 特定標的臓器毒性, 反復ばく露:

入手可能なデータに基づくと、この影響に対して有害と分類される物質は含まれていないため、分類基準は満たしていません。追加情報はセクション3を参照。

- 皮膚: 入手可能なデータに基づくと、この影響に対して有害と分類される物質は含まれていないため、分類基準は満たして

H- 吸引性呼吸器有害性:

入手可能なデータに基づくと、この影響に対して有害と分類される物質は含まれていないため、分類基準は満たしていません。追加情報はセクション3を参照。

その他の情報:

該当なし

物質の特定有害性情報:

該当なし

セクション12: 環境影響情報

セクション12: 環境影響情報 (続き)

製品自体の環境毒性に関する実験情報は入手できません。

入手可能なデータに基づくと、この影響に対して有害と分類される物質は含まれていないため、分類基準は満たしていません。追加情報はセクション3を参照。

12.1 生態毒性:

該当なし

12.2 残留性・分解性:

該当なし

12.3 生態蓄積性:

該当なし

12.4 土壌中の移動性:

該当なし

水に不溶

12.5 PBTおよびvPvBの評価結果:

該当なし

12.6 その他の副作用:

記述なし

セクション13: 廃棄上の注意

13.1 廃棄方法:

廃棄物管理 (処理と評価) :

評価および廃棄作業については、認定廃棄物サービス管理者に相談してください。容器が製品に直接触れていた場合は、実際の製品と同様に処理されます。そうでない場合は、非有害残留物として処理されます。廃棄物は排水溝に捨ててはなりません。エピグラフ6.2を参照。

廃棄物管理に関する規制:

廃棄物管理に関する法律 :

廃棄物管理に関する国および地方自治体の規制を参照してください。

セクション14: 輸送上の注意

危険物の陸上輸送:

ADR2023とRID2023について :

14.1 国連番号: 該当なし

14.2 国連輸送品目名: 該当なし

14.3 輸送危険等級: 該当なし

ラベル: 該当なし

14.4 容器等級 (該当する場合) : 該当なし

14.5 環境ハザード: 番号

14.6 使用上の注意

物理化学的性質: セクション9を参照

14.7 MARPOL 該当なし

73/78の付属書IIおよびIBCコードに従ったバルク輸送:

危険物の海上輸送:

IMDG 41-22について :

セクション14: 輸送上の注意 (続き)

14.1 国連番号:	該当なし
14.2 国連輸送品目名:	該当なし
14.3 輸送危険等級:	該当なし
ラベル:	該当なし
14.4 容器等級 (該当する場合):	該当なし
14.5 海洋汚染物:	番号
14.6 使用上の注意	
特別規定:	該当なし
EMSコード:	
物理化学的性質:	セクション9を参照
数量限定:	該当なし
分離集団:	該当なし
14.7 MARPOL	該当なし
73/78の附属書IIおよびIBCコードに従ったバルク輸送:	

危険物の航空輸送:

IATA/ICAO 2024について :

14.1 国連番号:	該当なし
14.2 国連輸送品目名:	該当なし
14.3 輸送危険等級:	該当なし
ラベル:	該当なし
14.4 容器等級 (該当する場合):	該当なし
14.5 環境ハザード:	番号
14.6 使用上の注意	
物理化学的性質:	セクション9を参照
14.7 MARPOL	該当なし
73/78の附属書IIおよびIBCコードに従ったバルク輸送:	

セクション15: 適用法令

15.1 当該製品に固有の安全、衛生、環境規制:

- 優先評価化学物質: 該当なし
- 劇物(毒物及び劇物取締法): 該当なし
- 化審法-既存化学物質: 該当なし
- 安衛法-公表化学物質: 該当なし
- 毒物(毒物及び劇物取締法): 該当なし
- 特定毒物(毒物及び劇物取締法): 該当なし

人や環境の保護に関する具体的な規定:

この安全データシートに記載されている情報は、この製品の操作、使用、保管、廃棄に必要な危険防止措置を確立するために、現地の状況をリスク評価するためのデータとして使用することを推奨します。

その他の法律:

該当なし

セクション16: その他の情報

安全データシートに関する法律:

SDSは、公用語で、製品が上市される国の化学物質危険有害性管理に関する正式な法律に従って提供されなければなりません。この安全データシートは、化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) 改訂第9版の付属書4の安全データシートの作成に関するガイダンスに従って作成されています。

セクション3で言及された立法フレーズのテキスト:

- 次ページに続く -

セクション16: その他の情報 (続き)

表示されている語句は、製品そのものを指すものではなく、単に情報提供の目的で記載されているものであり、セクション3に記載されている個々のコンポーネントを指すものです。

GHS:

該当なし

トレーニングに関するアドバイス:

この製品を使用するスタッフの産業上の危険を防止するため、この安全データシートおよびこの製品に貼付されたラベルの理解と解釈を容易にするための最低限のトレーニングを推奨します。

主な参考文献:

国連欧州経済委員会 (UNECE)

略語と頭字語:

ADR : 危険物の国際道路運送に関する欧州協定IMDG : 国際海上危険物コードIATA : 国際航空運送協会ICAO : 国際民間航空機関

COD : 化学的酸素要求量BOD5 : 5日間の生物化学的酸素要求量BCF : 生物濃縮係数LD50 : 致死量50 CL50 : 致死濃度50

EC50 : 有効濃度50 Log-POW : オクタノール-水分配係数Koc : 有機炭素の分配係数IARC : 国際がん研究機関

この安全データシートに含まれる情報は、UNECEの情報源、技術的知識、GHSに基づくものですが、その正確性を保証するものではなく、各国固有の法規制に基づくものでもありません。この情報は、製品の特性を保証するものではなく、単にセキュリティ要件を説明するものです。この製品の使用者の職業上の方法および条件は、当社の認識または管理の範囲外であり、化学製品の操作、保管、使用および廃棄に関する法的要件を得るために必要な措置を講じることは、最終的には使用者の責任となります。この安全データシートに記載されている情報は、この製品に関するものであり、指定された用途以外には使用しないでください。

安全データシート (SDS) の終わり